

## 八千代市第3次環境保全計画等の見直し等に関する ヒアリング調査結果概要

### 1. 目的

八千代市第3次環境保全計画や関連計画の見直し、(仮称)八千代市地域脱炭素ロードマップ等を策定するにあたり、事業者の脱炭素に関する考えや取組などを把握し反映させるため。

### 2. 実施時期

令和5年4月下旬

### 3. 実施方法

事前送付したヒアリングシートに基づいた対面による聞き取り調査。  
(60分間程度)

### 4. ヒアリング項目

- 事業概要
- 「脱炭素社会の実現」等の環境に関連する目標
- 省エネルギー・再生可能エネルギーに関する取組状況
- 脱炭素社会実現に向けて関心のある取組
- 環境面の社員教育
- 市エネルギー施策への意見・要望

### 5. ヒアリング対象

製造業	9社
サービス業	3社

#### ※市内事業所抽出の考え方

市内事業者のうち、地球温暖化対策推進法に基づく「温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度」の対象となっている温室効果ガスを多量に排出する事業者を中心に対象として抽出。地域的な偏りが出にくいように市内に3つある工業団地からそれぞれ2つ以上となるように選定した他、製造業以外の業種も取り入れた。

## 6. ヒアリング結果の概要

### ●「脱炭素社会の実現」等の環境に関連する目標

- 大半の事業者が ISO14001 の認証を取得しているとともに、省エネ法に基づくエネルギー削減目標を設定し、各種取組を進めている。
- 一部事業者において、SDGs 目標を設定している。また、国の目標（2050年ゼロカーボン）を意識した目標を設定している事業者もいる。
- ゼロカーボンを意識した目標を設定した大きな要因としては、グループ会社の親会社からの要請が大きい。

### ●省エネに関する取組について

- 多くの事業所が LED 化や設備機器の高効率化を進めており、特に LED 化については高い割合で入れ替えが進んでいる。
- 環境負荷の軽減や経費削減、温室効果ガス排出削減などを目的として、設備更新のタイミングで重油から都市ガス・電気への切り替えが多くの事業者で進められている。

### ●再生可能エネルギーに関する取組について

- 再生可能エネルギーの導入については、全て事業者が関心を持っているが、実際に設置しているのは 6 社だった。
- 設置していない理由としては費用や設置場所がネックになっているとのことであり、設置場所については敷地内に設置場所がない、建屋が古く設置が困難などの理由が挙げられた。

### ●環境面における社員教育の取組について

- 多くの事業者が ISO の推進を通じて社員教育を行っている。

### ●市のエネルギー施策に向けた意見・要望等

- 環境に関連する取組についての情報提供や設備などの導入支援を求める声が多かった。
- 市がゼロカーボンの目標を設定していること、環境基本計画に基づいて環境保全の取組を行っていることについての認知度が低く、もっと事業者への P R を行い、事業者を巻き込んで取り組んだ方が良いとの提案を受けた。

以上